

○福崎町学校施設等長寿命化計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）の 実施結果について

1. 実施結果の概要

（1）実施期間

平成31年1月24日（木）～平成31年2月14日（木）

（2）意見の提出状況

提出者数 3名

回答数 3件

2. いただいたご意見と福崎町の考え方

いただいたご意見の概要と回答につきましては、次のとおりです。

○意見募集（パブリックコメント）での意見及び町の回答

意見番号	意見の概要	町の回答
1	<p>田原小学校の運動場のあちこち雨水が溜まり利用ができず、運動場を使用する授業、運動会及び球技大会などに支障が出ています。また、外周フェンスの支柱が傾いている箇所があったり、周辺の土がなく、ボールがフェンスの下を通過して溝に落ちてボールが取れない状況です。</p> <p>田原小学校の飼育小屋の柵が一部損壊し危険な状態になっているうえ、雑草が繁茂し景観を損なっている。これらの課題の対策をお願いします。</p> <p>併せて、田原幼稚園も含め、情操教育の一環として小動物の飼育をお願いしたい。</p>	<p>外周フェンスについては、運動場東側支柱の傾きを修繕しました。学校敷地外へボールが出ない措置については、今後、工法等を検討して参ります。</p> <p>運動場の雨水排水については、今後の検討とさせていただきます。</p> <p>飼育小屋につきましては損傷箇所の修繕を行いますが、雑草については現在、不定期ですが処理を行っておりますので、草刈り等時期の調整を検討します。また、小動物の飼育につきましては、現在、飼育の計画はありませんが、別途当該場所の有効活用について検討します。なお、田原幼稚園においては、現在、うさぎを1羽飼育しています。</p>
2	<p>学校施設等長寿命化計画を定めて順次改修が進められていくことは望ましいことで支持します。</p> <p>学校施設等長寿命化計画の5ページに「早急な対応が必要な場合には随時見直す」と書かれていますが、地域コミュニティ、防災拠点となる学校施設は、より安全・安心な施設であることが求められているため、最低でも5年ごとに施設を確認し、緊急対応が必要な箇所について対応していくことが必要だと考えます。</p> <p>また、学校施設の目指すべき方向性の中に上下水道やガス管などのインフラ関係の更新について触れられていないため、これら設備が更新されるのか心配です。</p>	<p>学校施設等長寿命化計画の41ページ「第5章 維持管理の項目・手法等の策定」にお示ししているように、日常点検、定期点検、臨時点検を行い、必要な修理・修繕を順次実施し、さらに学校施設等長寿命化計画を概ね5年ごとに見直すことで、健全な状態を維持していくよう努めて参ります。</p> <p>上下水道やガス管等のインフラ関係の更新についてですが、同計画の39ページ「第5章第1項 改修等の整備水準」の「安全・安心な教育環境の確保（老朽化への適切な対応）」の⑤にお示ししているように機械設備の改修も実施して参ります。</p>

意見 番号	意見の概要	町の回答
3	<p>田原小学校、福崎東中学校校舎の外壁の黒ずみが気になります。毎日通っている学生の気分を暗くさせていると推測されます。外壁の改修、壁の再塗装等には多大な予算が必要になるのは分かりますが、低予算でキレイにする方法もあるのではないのでしょうか。一日でも早く、外壁の改修工事をして頂けたらと思います。</p> <p>構造躯体以外の劣化状況評価方法が3段階でCとなっていました。10段階評価くらいで判断しなくてはいけないと思います。専門の方が見て、判断をするのであればしかるべき評価方法を導入しなければ意味がなく、その判断結果を反映しにくくなると感じました。</p>	<p>各学校施設における現時点における破損・損傷等の課題については、危険度及び緊急性の高いものから対応を図っていますが、学校の外壁汚損改修につきましては、長寿命化改修または大規模修繕のなかで実施して参ります。(学校施設等長寿命化計画44ページ)</p> <p>劣化状況の判定につきましては、本計画の策定基準として国が示している「学校施設等の長寿命化計画策定に係る手引」(文部科学省平成27年4月)及び「学校施設等の長寿命化計画策定に係る解説書」(文部科学省平成29年3月)に則って評価しているものです。劣化状況評価そのものは4段階評価ですが、部位毎のコスト配分も掛け合わせた上で全体の健全度を算出しているものです。(学校施設等長寿命化計画18ページ)</p>